



## 平成30年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年5月9日

上場会社名 株式会社リンクバル 上場取引所 東  
 コード番号 6046 URL http://linkbal.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉弘 和正  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部 本部長 (氏名) 馬場 博明 TEL 03 (6222) 6827  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第2四半期の業績（平成29年10月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	1,261	△0.3	280	16.2	282	4.1	177	5.9
29年9月期第2四半期	1,265	33.3	241	158.6	271	145.0	167	146.6

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	55.74	—
29年9月期第2四半期	51.45	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第2四半期	1,912	1,398	73.1
29年9月期	1,837	1,221	66.5

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 1,398百万円 29年9月期 1,221百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,905	9.5	568	22.3	568	15.1	352	12.6	110.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期2Q	3,250,000株	29年9月期	3,250,000株
② 期末自己株式数	30年9月期2Q	73,059株	29年9月期	73,035株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期2Q	3,176,952株	29年9月期2Q	3,249,968株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、各種経済政策・金融政策を受け、企業収益・雇用環境の継続的な改善を背景に、全体として緩やかな回復基調が続きました。一方で、世界経済は米国の不安定な政策運営、アジアにおける地政学リスクの高まり、近隣国との政治的緊張関係等により、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社は前期から引き続きイベントプラットフォームの強化を進めております。「イベントカテゴリーの拡大」「イベント掲載エリアの拡大」「イベント掲載数の拡大」を図る各施策につき積極的に事業展開を行い、イベントECサイトの拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は、他社の主催する街コンイベント売上高が769,200千円（前年同四半期比53.4%増）となった一方で、当社が主催する街コンイベント売上高が402,419千円（前年同四半期比40.0%減）となったこと等により、1,261,586千円（前年同四半期比0.3%減）となりました。売上原価、販売費及び一般管理費の合計が980,620千円（前年同四半期比4.2%減）となった結果、営業利益は280,966千円（前年同四半期比16.2%増）、経常利益は282,451千円（前年同四半期比4.1%増）となりました。また、四半期純利益は177,096千円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

なお、当社はインターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取組みは以下のとおりであります。

## (イベントECサイト運営サービス)

当第2四半期累計期間において、当社の運営する「街コンジャパン」サイトへの訪問者数が堅調に増加し、2018年3月末時点において会員数が120万人を超えました。引き続き人気の高いアニメをテーマにしたイベントの自社企画を行う等、共通の趣味をもつ参加者を対象とした「趣味コン」の掲載を強化しました。また、大規模なイベント「ラブフェス」を日本各地で同時期に開催するなど、当社独自のイベントコンテンツを積極的に掲載いたしました。加えて、静岡県藤枝市が主催する婚活パーティー「恋するふじえだであい」の運営を行うなど、話題性の高いイベントの掲載を行いました。

これらの結果、当第2四半期累計期間におけるイベントECサイト運営サービスの売上高は1,180,778千円（前年同四半期比2.4%減）となりました。なお、売上の内訳は、他社が主催する街コンイベントによる売上高が769,200千円（前年同四半期比53.4%増）、当社が主催する街コンイベントによる売上高が402,419千円（前年同四半期比40.0%減）、街バルイベントによる売上高が9,158千円（前年同四半期比75.3%減）となりました。

## (WEBサイト運営サービス)

当第2四半期累計期間におけるWEBサイト運営サービスの売上高は80,808千円となり、前年同四半期比45.5%増となりました。

「KOIGAKU（恋学）」サイトでは、オリジナルコンテンツの制作・配信をさらに強化することによりページビューが順調に推移し、広告販売による売上高獲得に寄与いたしました。また、「Couplink（カップリンク）」の有料会員数の増加が売上増加に寄与いたしました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は1,912,977千円となり、前事業年度末に比べ75,942千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の減少が41,875千円、預け金（流動資産「その他」）の減少が36,760千円あったものの、未収入金の増加が139,547千円、長期前払費用（固定資産「投資その他の資産」）の増加が9,480千円あったことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末における負債は514,784千円となり、前事業年度末に比べ101,243千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等の減少が39,646千円、未払金の減少が15,756千円、未払消費税等の減少が12,773千円、買掛金の減少が9,549千円あったことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,398,192千円となり、前事業年度末に比べ177,185千円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加177,096千円によるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末から78,635千円減少し、1,380,995千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動により使用した資金は75,710千円（前年同期は216,003千円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が282,451千円あったものの、未収入金の増加額が139,547千円、法人税等の支払額が138,846千円、未払金の減少が15,756千円、未払消費税等の減少が12,773千円、仕入債務の減少が9,549千円となったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動により使用した資金は3,013千円（前年同期は20,340千円の収入）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3,096千円となったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動により得られた資金は88千円（前年同期は36千円の支出）となりました。これは、主に新株予約権の発行による収入が156千円となったことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間において、平成29年11月10日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました平成30年9月期の第2四半期（累計）業績予想に対しておおむね計画通りの進捗となりました。

通期の業績予想については、不確定要素もあるため現時点では、平成29年11月10日の「平成29年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,422,871	1,380,995
売掛金	20,993	24,023
未収入金	126,499	266,047
その他	74,564	40,711
貸倒引当金	△591	—
流動資産合計	1,644,337	1,711,778
固定資産		
有形固定資産	78,840	76,063
無形固定資産	7,585	6,854
投資その他の資産	106,270	118,280
固定資産合計	192,697	201,198
資産合計	1,837,034	1,912,977
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,210	20,661
未払金	202,482	186,726
未払法人税等	152,094	112,448
未払消費税等	29,904	17,130
前受金	12,430	8,729
預り金	57,625	52,117
賞与引当金	29,750	24,622
その他	70,357	61,081
流動負債合計	584,857	483,518
固定負債		
資産除去債務	31,170	31,266
固定負債合計	31,170	31,266
負債合計	616,028	514,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	281,000	281,000
資本剰余金	276,000	276,000
利益剰余金	807,994	985,091
自己株式	△143,988	△144,055
株主資本合計	1,221,006	1,398,036
新株予約権	—	156
純資産合計	1,221,006	1,398,192
負債純資産合計	1,837,034	1,912,977

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	1,265,153	1,261,586
売上原価	302,535	209,208
売上総利益	962,617	1,052,378
販売費及び一般管理費	720,826	771,411
営業利益	241,790	280,966
営業外収益		
受取利息	41	30
保険解約返戻金	27,542	—
債務勘定整理益	1,906	1,513
その他	5	30
営業外収益合計	29,495	1,574
営業外費用		
支払手数料	0	—
その他	—	89
営業外費用合計	0	89
経常利益	271,285	282,451
特別損失		
固定資産除却損	1,230	—
特別損失合計	1,230	—
税引前四半期純利益	270,055	282,451
法人税、住民税及び事業税	112,310	104,446
法人税等調整額	△9,474	908
法人税等合計	102,836	105,354
四半期純利益	167,218	177,096

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成29年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	270,055	282,451
減価償却費	6,470	6,605
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△591
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,748	△5,128
受取利息及び受取配当金	△41	△30
保険解約返戻金	△27,542	—
売上債権の増減額(△は増加)	△11,944	△3,030
未収入金の増減額(△は増加)	△7,694	△139,547
仕入債務の増減額(△は減少)	18,912	△9,549
未払金の増減額(△は減少)	19,232	△15,756
未払消費税等の増減額(△は減少)	△13,049	△12,773
前受金の増減額(△は減少)	△3,871	△3,700
預り金の増減額(△は減少)	△9,841	△5,508
その他	7,277	△30,334
小計	267,710	63,105
利息及び配当金の受取額	41	30
保険解約返戻金の受取額	27,542	—
法人税等の支払額	△79,290	△138,846
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,003	△75,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,842	△3,096
無形固定資産の取得による支出	△1,552	—
敷金及び保証金の差入による支出	△6,935	—
敷金及び保証金の回収による収入	165	83
保険積立金の解約による収入	32,505	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,340	△3,013
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△36	△67
新株予約権の発行による収入	—	156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36	88
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,307	△78,635
現金及び現金同等物の期首残高	1,164,263	1,459,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,400,570	1,380,995



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社は、インターネットサイト運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。